

八雲小学校で避難所運営訓練を実施

災害時対応委員会(八雲住区エリア)事務局 渡辺 正一

10月7日の日曜日に災害時対応委員会が主催した八雲小学校避難所運営訓練が実施されました。当日は連休の狭間でしたが天気にも恵まれ大勢の皆さんが参加してくれました。

いつ起きるかわからない大地震。起きてしまった時に駆けつけるであろう避難所がスムーズに立ち上げられ、担ぎ込まれる怪我人の応急手当、災害時に一番困るトイレ問題を解決するための簡易トイレの組み立てなど、消防署や消防団の指導のもと参加者は一生懸命取り組んでいました。

最後に区防災課の方たちの指導のもとで作られたアルファー化米や給食班心尽くしの豚汁に舌鼓を打ちながら解散となりました。ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。



簡易トイレの組み立て(上)



トイレ用マンホール(左)

お知らせ

祝 八雲住区センター開館10周年・新年お楽しみ会

八雲住区センターの開館10周年を記念して式典やお餅つきを行います。地域の皆様や子ども達の多数参加をお待ちしています。

日時 平成20年 1月20日(日) 午前10時～
会場 八雲住区センター
内容 記念式典、アトラクション、餅つき、遊ぼうタイム、他
主催 八雲住区住民会議 共催 八雲児童館、老人いこいの家



西部地区スポーツ大会

実施日 平成20年 2月2日(土) 受付9時～
会場 八雲体育館

新一年生交通安全教室

実施日 平成20年 2月4日(月)
会場 八雲小学校

詳しくはホームページ「<http://yakumo19.net>」や、ポスターでお知らせします。

やくも住区だより No.110 平成19年12月発行

発行=八雲住区住民会議広報部会 伊藤 直美

本誌掲載の行事は住区、町会の掲示板、ポスター、ホームページなどで案内しています。

八雲住区住民会議ホームページ <http://yakumo19.net>

平成19年12月発行

やくも 住区だより^{NO.} 110

八雲住区住民会議・広報部会



青空の下「みんなの運動会」開催

10月21日(日)八雲小学校校庭

晴天に恵まれ「みんなの運動会」が行われました。たくさんの参加者が笑顔で元気よく楽しんでいました。

真っ白にならないように、マシュマロを取るのに苦戦!!又、パン食い競争では、普段見られない貴重な場面、、、(イメージが~(_ _ ;))があり、幼児から大人まで楽しめた運動会となりました。



とっても楽しいコスプレース



玉入れに大張り切り



親子でハイハイ



真剣に障害物競走



最後はパン食いレースで盛り上がり



マシュマロでまっ白!

4校一斉あいさつ運動が東京都から表彰

青少年委員 北澤尚文

平成17年11月から始まった「あいさつ運動」。先月も26日から1週間、八雲住区を始め町会、商店会、PTAの大勢のみなさんが集まり、学校の玄関や通学路で明るくあいさつを交わしました。

5回目を数えた「あいさつ運動」は、第十中校区地域教育懇談会が主催していますが、八雲小・宮前小・東根小・第十中の4校が同時に実施し、短期間で地域に広がった点が評価され、19年度の青少年育成協力団体として表彰されました。



10月4日の表彰式



焼きそばやおでんの模擬店も出店



風船でイヌなどをつくります

八雲ワイワイまつり 盛大に開催！！

平成19年11月11日(日)「第8回八雲ワイワイまつり」が八雲住区センター全館で開催されました。

今回は住区センター開館10周年記念として、センター利用団体や住区住民会議の各部門が参加し、八雲地域の文化祭として、模擬店や作品展示、また国際色豊かな「なかよしコンサート」など 楽しい催しが行われ、沢山の来館者が大いに楽しみました。



カフェではコーラスも



区の職員による
ゴミ相談



手編みやクリスマスリースの講習会



元気に
児童館のゲーム



お茶席で
お手前

なかよしコンサート ・体験イベント



カラオケを合唱



ドイツの歌のコーラス



4才のフラダンサーも出演



三線(サンシン)演奏



イタリア歌曲を披露



アコーディオンで歌おう



ヨガを体験

今年もまた、八雲小の6年生が氷川神社のシャッターに絵を描きました

八雲小学校 図工専科 内田佳代子

4年ほど前から氷川神社のシャッターには落書きがされていました。防犯や美観の面から八雲住区で対策が検討され、八雲小児童に絵を描いてもらいたいという依頼を受けました。地域の皆様の強い願いを受け、昨年度は12月に通り側のシャッターに6年生全員が『春夏秋冬』をテーマに明るく伸び伸びとした作品を描かせていただきました。卒業していった6年生は、地域の皆様に「温かい通りになりましたね。」「通りが明るくなって、毎日楽しくなったわ。」などの声を掛けていただきました。

今年も落書きがされた残りのシャッターに、6年生が9月から10月にかけて取り組みました。テーマは『海から宇宙へ』。海底・森・街・空・宇宙のテーマ毎にグループで下絵を考え、鉛筆での下書後、ペンキで描いていきました。自分の背よりも高い大画面は、子ども達にとって新鮮な表現の場となりました。しかし、シャッターの表面は凹凸があり、描きたい魚や動植物等が思うように描けず、とまどうこともありました。お互いに声を掛け合ったり、様々な角度から見合ったりしながら協力して絵を完成させることが出来ました。楽しみながら描いていた子ども達ですが、この活動を通して「自分達のやっていることが地域に役立っている。」「自分の住んでいる街を愛する。」などの様々な気持ちを感じてくれることを願わずにはいられません。

制作に当たり下塗用のペンキは氷川神社が、児童の絵画用ペンキは八雲小校友会と八雲住区の皆様が負担していただきました。また、制作の際の児童の安全を守るために、校友会と住区の方々も長時間に渡って子ども達の側に付き添っていただきました。その他、碑文谷警察署・中島塗装・八雲小PTA等、多くの皆様に支えられこのような活動が出来たことに、心より感謝申し上げます。



6年生が氷川神社の
北側シャッターに
かわいい絵を描きました

